

高知市

コスモ工房



## 里山保全と社会貢献 エコマーク取得の「竹鳴子」

- キーワード：里山、竹、エコマーク鳴子
- 活動時期：通年
- 主な活動メンバー：社員4名
- ホームページ：  
<http://www.cosumo-kobo.jp/>

### (取り組み内容)

里山再生と資源の有効利用のために、高知市近郊で伐採した孟宗竹を使用した竹製品の開発・販売を進めている。主商品は「竹鳴子」よさこい祭りに利用され、高知の産業活性化にも貢献している。



近年問題視されている里山の竹林

### 【竹鳴子について】

(財)日本環境協会「エコマーク事務局」による商品認定審査にて、認定基準を満たし、正式にエコマーク使用許諾をいただいた商品。



エコマークを取得した竹鳴子



エコマーク

- ①. 原材料・・・高知市近郊の孟宗竹を使用。
- ②. 接着剤・・・イソシアネート接着剤。JAS規格によるF☆☆☆☆等級（規制対象外）
- ③. 木材保存剤・・・木材防蟻剤、木材防腐剤、木材防虫剤、木材防カビ剤は使用していない。
- ④. トルエン、キシレン・・・添加していない。
- ⑤. 塗料・・・貴金属・重金属化合物のエコマーク認定基準の要件を満たす。  
JIS規格によるF☆☆☆☆等級（規制対象外）

## 【竹鳴子の制作】

鳴子制作は 24 年の実績を持つ身体障害者授産施設「社会福祉法人 小高坂更生センター」に依頼。施設運営ならび障害者の自立支援に役立ててもらっている。



### ◆取り組みに対する想い

近年問題視されてきた竹による里山の環境悪化に対し、改善するために切り出された竹の廃材を有効利用することで里山の保全につなげている。

里山の保全にはこうした竹資源の有効活用が不可欠。

このとき、企業・団体だけでなく、里山を管理する行政との協働が今後の振興につながると考えている。

### ◆取り組みを進めるためのポイント

まだまだ“竹”の流通が構築されておらず、今後は行政支援も含めて里山から消費者までをつなぐ仕組みづくりがポイントとなる。

### ◆今後の展望

“竹”に関わる人や団体・企業をとりまとめる組合の設立を進めている。

さらには新商品として「竹の集成材」の開発を進めており

“建材”として市場に出すことを予定している。



竹鳴子（中央）と  
開発中の竹集成材（左右）

（平成 21 年 10 月現在）